

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 289 例
- 3 類感染症: 細菌性赤痢 9 例 (感染地域: 埼玉県 3 例、新潟県 2 例、千葉県 1 例、インドネシア 1 例、タイ 1 例、インド 1 例)、腸管出血性大腸菌感染症 47 例 (うち有症者 30 例) [感染地域: 国内 46 例、中国 1 例 国内の多い感染地域: 高知県 (6 例)*、福岡県 (5 例) *全例が保育所における集団感染 年齢群: 10 歳未満 (15 例)、10 代 (9 例)、20 代 (11 例)、30 代 (2 例)、40 代 (6 例)、50 代 (2 例)、60 代 (1 例)、70 歳以上 (1 例) 血清型・毒素型: O157 VT2 (13 例)、O157 VT1・VT2 (11 例)、O111 VT1 (7 例)、O26 VT1 (6 例)、O28 VT2 (1 例)、O91 VT1 (1 例)、O111 VT1・VT2 (1 例)、O145 VT1 (1 例)、O157 VT1 (1 例)、その他/不明 (5 例)]、腸チフス 1 例 (感染地域: 不明)
- 4 類感染症: A 型肝炎 3 例 (感染地域: 神奈川県 1 例、新潟県 1 例、三重県 1 例)、つつが虫病 19 例 (感染地域: 福島県 7 例、神奈川県 3 例、鹿児島県 3 例、山形県 2 例、岐阜県 2 例、新潟県 1 例、広島県 1 例)、 Dengue 熱 1 例 (感染地域: 台湾)、日本紅斑熱 5 例 (感染地域: 兵庫県 2 例、広島県 2 例、和歌山県 1 例)、マラリア 1 例 (三日熱_感染地域: モザンビーク)、レジオネラ症 7 例 (すべて肺炎型) [年齢群: 30 代 1 例、50 代 1 例、70 代 1 例、80 代 3 例、90 代 1 例 感染地域: 広島県 3 例、千葉県 1 例 (温泉)、滋賀県 1 例、鹿児島県 1 例、国内 (都道府県不明) 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 9 例 (腸管アメーバ症 8 例、腸管及び腸管外アメーバ症 1 例) [感染地域: 国内 7 例、ミャンマー 1 例、国内/グアム 1 例 感染経路: 経口 2 例、性的接触 3 例 (すべて異性間)、不明 4 例]、ウイルス性肝炎 4 例 B 型 3 例 C 型 1 例 感染経路: 性的接触 (異性間) 1 例、不明 2 例 C 型 1 例 感染経路: 針刺し事故、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (70 代、死亡)、後天性免疫不全症候群 16 例 (AIDS 4 例、無症候 9 例、その他 3 例) [感染地域: 国内 12 例、ジンバブエ 1 例、フランス/香港 1 例、タイ/ラオス 1 例、国外 (国不明) 1 例 感染経路: 性的接触 15 例 (異性間 5 例、同性間 9 例、異性間・同性間 1 例)、不明 1 例]、梅毒 10 例 (早期顕症 I 期 5 例、早期顕症 II 期 1 例、無症候 4 例)、破傷風 2 例 (60 代 1 例、70 代 1 例)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 42 週以降増加が続いており、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い。都道府県別では北海道 (8.1)、沖縄県 (3.1)、神奈川県 (1.8)、和歌山県 (1.7)、千葉県 (1.5)、兵庫県 (1.4) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 1,184 例の報告があり、報告数は第 42 週以降増加が続いている。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 73% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は 3 週連続で増加した。都道府県別では青森県 (0.79)、佐賀県 (0.57)、広島県 (0.51) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山形県 (3.6)、鳥取県 (2.8)、富山県 (2.8)、石川県 (2.6) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 42 週以降増加が続いている。都道府県別では宮崎県 (23.6)、大分県 (20.2)、福岡県 (16.2)、熊本県 (16.1) が多い。水痘の定点当たり報告数は第 41 週以降増加が続いている。都道府県別では福島県 (2.5)、岩手県 (2.3)、新潟県 (2.3) が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県 (2.7)、大分県 (1.8)、宮城県 (1.6) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県 (0.72)、宮城県 (0.38)、三重県 (0.38) が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では岐阜県 (0.11)、千葉県 (0.10)、広島県 (0.10)、東京都 (0.07)、兵庫県 (0.07) が多い。風しんの報告数は 9 例と増加した。都道府県別では埼玉県から 3 例、千葉県、神奈川県から各 2 例、岐阜県、大阪府から各 1 例であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では岩手県 (0.56)、三重県 (0.33)、埼玉県 (0.29) が多い。麻しんの報告数は横ばいであり、10 都道府県から 44 例の報告があった。都道府県別では北海道 15 例、大阪府 11 例、福岡県 6 例、青森県 4 例、千葉県、東京都から各 2 例、埼玉県、神奈川県、長崎県、沖縄県から各 1 例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県 (1.80)、新潟県 (0.84)、宮崎県 (0.78) が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では群馬県 (1.6)、宮城県 (1.6)、福島県 (1.3)、沖縄県 (1.3) が多い。成人麻しんの報告数は 3 週連続で減少し、2 県から 2 例の報告があった。都道府県別では、青森県、神奈川県から各 1 例であった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県	.0	.2	.1	1.6	6.0	1.9	.5	.1	1.1			.1		.2	.1	1.1						
近県	香川県	.8	.1	.5	9.9	.4	.2	.2	.9			.1		.2		.3						
	徳島県	1.2	.1	1.3	2.7	.6	.1	.1	.6	.0												
高知県	.0	.2	.3	.5	4.4	.7	1.3	.3	.4			.2		.7		.3			.1			
全国	.9	.4	.2	1.5	7.3	1.2	.5	.1	.6	.0	.0	.1	.0	.3	.0	.6	.0	.0	.4	.0	.0	.0
北海道	8.0	.3	.3	2.3	6.8	1.9	.4	.2	.3	.0		.2	.1	.2	.0	.5			.1			
東北	.2	.4	.3	1.7	6.7	1.8	.9	.2	.6	.0		.2	.0	.5		.6			.8	.0	.0	.0
関東	1.0	.3	.1	1.7	5.8	1.0	.4	.2	.7	.0	.0	.2	.0	.3	.0	1.0	.0	.0	.5	.0	.0	.0
甲信越北陸	.5	.1	.3	2.0	5.9	1.8	.2	.3	.6	.0		.1		.4		.3			.6	.1		
東海	.3	.3	.1	1.3	4.9	.9	.4	.1	.6	.0	.0	.1		.3		.2	.0	.0	.3	.1		
近畿	.7	.6	.2	1.2	7.0	.8	.3	.1	.5	.0	.0	.1	.0	.2	.0	.5	.0	.0	.3	.0		
中国四国	.4	.3	.2	1.1	8.2	1.1	.5	.1	.6	.0		.1		.3	.0	.7	.0	.1	.1			
九州沖縄	.3	.8	.2	1.3	13.6	1.1	.9	.1	.8	.0		.1	.0	.4		.7	.0	.0	.2			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病を除く。 (11月21日集計)

全国 全数把握感染症 第46週 (2007.11.12 ~ 11.18)

疾病名	二類 (2) 結核	三類感染症					四類感染症														五類感染症																			
		(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ポツリヌス症	(33) マラリア	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢	(2) ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) ドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌		
全 国	289		9	47	1		3					19	1	5					1		7			9	4				1	16					10	2				
第46週報告数	四 国	愛 媛 県	4		2																																			
		香 川 県																																						
		徳 島 県	1																																					
		高 知 県	2		6																																			
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	14																																					
		東 北 道	26			2							9												1															
		関 東 圏	119		7	8		1					4									1			3	1										3				
		甲信越北陸	21		2	3		1																1																
		東 海 道	27			3		1					2																									3		
		近 畿 圏	31			7								1	3								1		4	1														
中国四国	24			11	1						1		2											1													1			
九州沖縄	27			13							3								1			2		1											4	1				
週 推 移	全 国	46週	289		9	47	1		3				19	1	5					1		7			9	4				1	16					10	2			
		45週	297		4	54	1		1				6		4	1				1		11			10	3	1		1	2	11	3	1			9	1		2	
		44週	292		3	70		1	1	1		1	4	1	4	2				3		15	1		11	4	1		1	17					8	1		2		
		43週	281	1	8	102	1	1	2				2	2	2	2						9	3		10	2	3		1	10	1			5	1					
2007年累積数	四 国	全 国	16171	12	422	4356	44	18	50	136	14	28	4	3	144	82	84	8	1		3	48	10	573	27	684	209	196	6	123	87	1285	48	14		630	85		68	
		愛 媛 県	220		3	26				1														6		4	1	1		6	1	10				6				
		香 川 県	90		3	15				2				3										3		1	2	1		2	1	3				4				
		徳 島 県	130		1	19				1														2		3				1	3	1				1			1	
	ブ ロ ッ ク 別	高 知 県	110			14				1															1	5			6	1	6				1		4	2		
		北 海 道	478		6	108	1		9	7	11	1									1	3	28		21	5	10		2	6	19					11	5		1	
		東 北 道	848	2	19	511	4	3	4	12				53	1	1					2				39	11	12		3	6	37			2		26	8		6	
		関 東 圏	5786	7	210	1097	16	9	10	42	3	8	1	3	28	43	1				1	28	5	166	6	295	58	59	2	38	29	658	26	5	245	25		33		
		甲信越北陸	835		16	354	2	1	3	8					9	2		2			2				30	12	13	2	10	6	27	2			19	7		6		
		東 海 道	2062		61	302	5		15	16					9	6	13								3	1	91	1	74	13	8		13	8	173	3	1	106	5	
近 畿 圏	2588	3	69	849	13	4	4	23					10	19	18				1				149	55	48		23	8	230	13	2		56	8		9				
中国四国	1469		30	349	2		3	12					9	3	23	3							28	38	14	1	22	15	54	4	1		42	3		2				
九州沖縄	2105		11	786	1	1	2	16					26	8	28	3							48	17	32	1	12	9	87		3		125	24		1				

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。